

環境改善機器メーカーへ前進

鎌倉製作所

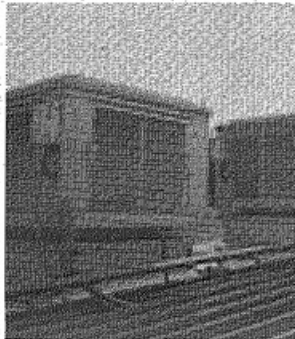
大風量給気、省エネ効果も大



熊切 勝夫 社長

産業用換気扇を主力製品に、フルファンのカマクラの愛称で知られる専業メーカー、鎌倉製作所（社長＝堀江威史氏、本社、東京都港区北青山二丁目一丁目）では三年後の会社設立六十周年にあ

せ、新たな事業骨子を構築するべく、さらなる環境改善機器への取組みを強めている。同社は昭和二十五年の創業以来、一貫して産業分野のなかでも換気扇などの工場基幹設備を軸に空気調和技術の推進を図ってきた。工場そのものの様式が変容する中にある空気への入口、出口を司る換気扇へも少なからず変革の時を迎えようとしている。同社では〇二年、給気形フルファンのファンユニット



「フルファン」を

に、水の気化放熱という自然の力を利用したエレメントを一体化した気化放熱式涼風装置「フルファン」をまた隣接部に設置し、施設内へはダクト吹出し口を通じてダイレクトに涼風を送り込む。さらにファンに送風機を組み合わせ、送風能力を高めて室内温度を下げ、省エネ効果も大。また、自動的

市場投入。従来機に高付加価値化を持たせることで新たな市場創出を図るとともに、更新需要に対しても広く呼びかけ前年倍販を目指した。フルファンは夏場の暑い外気を涼風へ切り替え、快適な作業環境を実現するもので、工場、事業所などの防曇対策装置でもある。施設屋上、または隣接部に設置し、施設内へはダクト吹出し口を通じてダイレクトに涼風を送り込む。さらにファンに送風機を組み合わせ、送風能力を高めて室内温度を下げ、省エネ効果も大。また、自動的

涼風効果の面積をあげる。システムは外気に含まれる塵埃をエレメントの水膜で吸収し、自動的にクリーンな水槽に流れ落ちるため、涼しく清潔な空気を供給する。とくにフロアファンによる大量の送風は作業ゾーンへ気流を与え体感的にさらさら涼しさを持たせる。いわゆる水による涼風機能を持ち合わせた換気扇といえる。その冷却能力は外気温度三四・三度C、相対湿度三八%の場合、フルファンの吹出し温度は二四・一度Cとなる。とくに外気温度が人の体温（三十六度C）より高くなる場合、外気を取り入れても室内温度が体温より高まってしまふ。このため外気をいったん冷却

した上で取り入れることは非常に効果的で理にかなった製品。今後の温暖化対策へも省エネルギーで起動する同製品の有効性は高い。フルファンファンの主なる用途は負圧の解消、機器の冷却、製品冷却、加温、コージェネレーションといった先が挙げられる。とくに現行機種からの置換需要については設置台数の軽減とエネルギー使用量の低減によりトータル的なコスト削減が可能となる。

同社マーケティング室、熊切勝夫社長は業況について「従来、当社製品は季節的要因の多い受注ペースでの展開が主体であったが、今更のようになり、シーズンが若干ずれたことでの需要も如実に体現した。今後はより時代のニーズにあった環境改善装置を開発し市場に対し、より俯瞰的な取組みが行えるよう推進して行く。フルファンファンならびにフルファンについても順調に実績の積み増しが行えている。さらに自社設置品の置換需要とトータル的なコスト削減を実現する提案製品としてアプローチを行っている」とし、シフト案提案での設置率の拡大に努めていると語った。

〇七年の進捗においては前年対比一四〇%の伸張となつた。さらに次年度へ向けコア商品の充実や使い勝手を考慮した展開を予定している。